

平成 24 年度中央区特色ある区づくり事業

「超高齢地域支え合いモデル事業」

(平成 24 年度～)

内容

区内において特に高齢化率の高いしもまち地区の栄小学校区と入舟小学校区をモデル地区とし、高齢化に伴う地域の問題を洗い出し、地元の事業所や団体と連携して解決に取り組む「しもまちお互いさまネットワークプロジェクト」を展開した。市からの補助金の交付が終了後も事業が継続できるよう、安定した収入を確保できる事業展開の構築を目指す。

栄小学校区においては、「しもまちお互いさまくらぶ運営委員会」を立ち上げ、地域住民と地元商店とが連携して買い物支援と一人暮らし高齢者等の見守りに取り組んだ。

入舟小学校区においては、高齢者の交流の場づくりと一人暮らし高齢者等の見守りを兼ね、地元サークル・団体によるショー付きのワンコインランチ「しもまちお互いさまランチ」を定期的で開催した。

栄小学校区「しもまちお互いさまくらぶ」

○地元商店の宅配サービスなどの情報を掲載した情報誌を作製し、ボランティアスタッフが孤立の心配がある一人暮らし高齢者等に訪問配布することにより、見守りのきっかけづくりを行うことができた。

(訪問対象世帯数：600 世帯、くらぶ会員登録：184 人)

○取り組みを契機に、新たな地域活動の担い手を発掘した。

(登録ボランティアスタッフ：36 人)

○25 の加盟事業所とボランティアスタッフが見守りを行い、対応困難な心配事案を地域包括支援センター「ふなえ」に集約する見守りネットワークを構築した。

入舟小学校区：「しもまちお互いさまランチ」

○11 月 25 日から「しもまちお互いさまランチ」をスタート。5 回開催し、延べ 241 人が参加した。(参加費 500 円)

○取り組みを契機に、新たな地域活動の担い手を発掘した。

(登録ボランティアスタッフ：49 人)

○参加呼びかけやチケットの配布などの機会を捉えて一人暮らし高齢者等の見守り活動を行った。

○当初既製弁当だった昼食を、参加者のアンケート結果に基づき、一部手づくりにするなど、地域の主体性が育まれた。

「あんしん見守り支援事業」

(平成23年度～平成24年度)

内容

一人暮らしの高齢者などを、地域が支えあい、気軽に声を掛け合う地域づくりを進めるため、地域から編集委員を募り「地域見守り活動マップ」を作成した。

活動中の地域のサロンなどのほか、休憩スペースなどを提供している商店・事業所など、地域をあらためて見つめなおしてもらい、地域の役立つ情報を併せて紹介することにより、サロンなどの利用の促進と新たな地域活動のきっかけづくりになるよう発行する。

24年度はさらに地域の意見や考え方を取り入れて、高齢者の視点に立ってマップを見直し、地域の新たな情報を加えた改訂版を発行した。

○地域見守り活動マップ作成事業

- ・平成24年10月から計4回の編集会議を行い、3月完成
 - ・編集委員の構成 各コミ協単位で2名参加
 - ・7つのエリア【湊・栄・入舟・豊照】【鏡淵・白山・新潟・礎】
【関屋・浜浦・有明台】【南万代・万代・長嶺・沼垂】
【鳥屋野・女池・上山】【上所・笹口・紫竹山】【山潟】 ごと
のマップを作成
- 発行部数 94,200部 全戸配布

「みんなで子育て！笑顔にな～あれ！！」

(平成22年度～平成24年度)

内容

「プレママ♡おしゃべり&体験会」

妊婦を対象に先輩ママの体験談を聞きながらのグループワークや赤ちゃん人形を使用しての育児体験を通し、仲間づくりを支援し、産後うつを予防を図った。

- ・開催会場 東・南・中央地域保健福祉センターの3会場
- ・開催回数 隔月で実施 (昨年度毎月)
- ・定員 各回20人 (昨年度12人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数		12		20		10		15		17		15	89

※平成22年度実績 70名 平成23年度実績 75名

「にこにこスキンシップ」

生後3か月～5か月頃の乳児を対象に、親子のスキンシップや心身のリラクセスの方法について体験してもらい、愛着形成を図りながら、仲間づくりの支援を行った。

- ・開催会場 東・南・中央地域保健福祉センターの3会場
- ・開催回数 月1回実施
- ・定員 各回親子10～15組

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
組	12	15	10	15	17	15	9	14	14	14	10	16	161

※平成22年度実績 131組 平成23年度実績 155組

「中央区 にちよう※育児相談室」

平日に行なわれることの多い育児相談を商業施設（デッキィ401）において休日に開催した。

- ・開催会場 デッキィ401 地階コミュニティールーム
- ・開催日時 月4回 日曜 午後1時30分～3時30分
- ・従事者 保育士、保健師等看護職

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	66	39	57	89	60	76	66	55	60	67	57	66	758

※平成22年度実績 727人 平成23年度実績 831人

「子育て情報誌『たっち』の発行」（平成23年度から発行）

短時間でも子どもを預けられる「育児サポート」の紹介や、病気やけがから子どもを守る「地域のネットワーク」の紹介など、現役ママ達の目線で作成した情報誌を発行。

- ・発行部数 10,000部（第3号）
- ・こんにちは赤ちゃん訪問において、助産師・保健師が渡すほか、区役所、地域保健福祉センター、医療機関、子育て支援センター等に設置するなどして配布。

※平成23年度 発行部数16,000部（第1号、第2号各8,000部）

「地域ですすめる健康づくり」

(平成23年度～平成24年度)

内容

鏡淵コミュニティ協議会と区の協働で、地域にある(公財)新潟県保健衛生センターを活かした健康づくり環境を整備する。次年度以降は、コミ協主体で地域の健康づくり活動をすすめていくことを目指す。

「地域ですすめる健康づくり(健康づくり大学)の開催」

(公財)新潟県保健衛生センターに業務を委託し、60歳以上の高齢者を対象に健康づくりについて学ぶ講座を実施した。

- ・平成24年7月～11月まで9回開催 定員50名
平成24年度 9回 延べ人数290人(実人数45名)
平成23年度 8回 延べ人数268人(実人数43名)

「地域ですすめる健康づくり鏡淵ふれあいスポーツクラブの設置」

「鏡淵ふれあいスポーツクラブ」を新潟県保健衛生センター内に開設。

利用者が個々の健康状態に応じて安全かつ適切な運動が継続できるようインストラクター(公財 新潟市開発公社に業務委託)と看護師を配置し、高齢者にも安全に利用できる健康マシーンなどの運動機器を配置して健康づくりの環境整備を図った。

- ・週3回(木・金・土)開設し、鏡淵コミュニティ協議会に運営を委託。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	73	59	76	98	55	60	52	48	51	31	66	115	784

平成23年度 利用者延717人(23年9月開設)

鏡淵小学校区コミュニティ協議会との連携

- ・健康づくり大学では、周知及び参加者の取りまとめなどを担ってもらった。
- ・今後、地域の健康づくりをすすめていく核となる人材の発掘・支援をおこなう、運動普及推進委員養成講座に3名の参加があった。
- ・平成25年度以降、ふれあいスポーツクラブの管理運営は、コミ協主体の自主運営にすることとなった。